

こども園の 園児が種まき

只見スキー場でコスモスが満開

8月26日、ぶなのもりこども園の子どもたちが只見スキー場を訪れ、見ごろになったコスモス畑で遊びました。コスモスは6月に子どもたちが種植えをしたものです。順調に育ち花が咲いたため、今回たんぽぽ組とひまわり組の子どもたちが咲いた様子を見に来ました。子どもたちは、コスモス畑で走り回り、咲いた花を眺めたり虫を探したりして楽しい時間を過ごしました。



▲自分たちが植えたコスモスと記念撮影した子どもたち

豊かな自然のなかでつながりを育む

「只見地球元気村2026」開催



▲自身の狩猟の経験を語る渡部さん（中央）

「只見地球元気村2026」(同実行委員会主催)が8月29日、30日に開催されました。本イベントは、町観光大使である冒険家・風間深志氏が代表を務めるNPO法人「地球元気村」と町が通年で実施する協働プロジェクトのひとつで、「元気の源は、自然の中にある。」をテーマに、人と自然、地域、人同士の交流イベントとして開催されました。

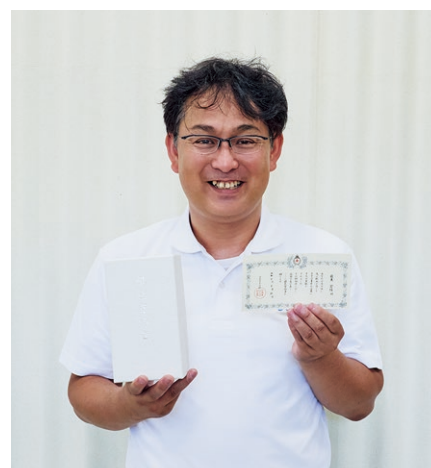
29日の夜には、奥会津ただみの森キャンプ場でシンポジウムが行われ、福島大学の岩井秀樹特任教授と渡部民夫さん（小川）が登壇しました。渡部さんはクマの狩猟のため山で過ごした経験など、只見の自然との関わりを語りました。

献血70回以上を称える

目黒公俊さん 「銀色有功章」を受章

目黒公俊さん（熊倉）が、献血回数70回に到達した方に贈られる「銀色有功章」を受章し、日本赤十字社から表彰状とガラス杯（銀色）が贈られました。目黒さんは「これからも健康に気をつけて、100回を目指して頑張りたい」と話しました。

町内では、年に2回、献血バスでの献血が行われています。次回は、10月22日（木）を予定しています。詳細はおしらせばんをご覧ください。ご協力よろしくお願いいたします。



▲銀色有功章を受章した目黒さん

「かるがもクラブ」開催

飾りつけをして十五夜を楽しもう！

令和8年度第4回かるがもクラブが9月2日、保健福祉センターで開催されました。

参加した6組の親子は、始めに手遊び歌で遊び、職員が絵本の読み聞かせを行いました。その後、十五夜の飾りつけとして団子を模した白い紙玉やイラストを壁に貼り付けました。また、満月の絵柄が変わるよう2枚の紙皿を使った工作をしました。子どもたちはお絵描きをしたり遊具で遊んだり、のびのびと過ごしました。



▲それぞれのお月さまを手に記念撮影をしました

第50回の節目を迎えた

「明和地区祭礼ソフトボール大会」開催



▲優勝した梁取・大倉・布沢チームの皆さん、おめでとうございます

「明和地区祭礼ソフトボール大会」が9月6日、明和小学校校庭で行われました。小林チーム、梁取・大倉・布沢チーム、塩ノ岐・二軒在家チーム、坂田チームの4チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

激戦の結果、梁取・大倉・布沢チームが優勝しました。また、最優秀選手賞に小林吉男さん（布沢）、優秀選手賞に矢沢明伸さん（二軒在家）、最高齢選手賞に目黒敏男さん（坂田）が選ばれました。

市町村対抗県軟式野球大会

只見町チーム、大熊町に1－3で惜敗

第20回市町村対抗福島県軟式野球大会第2日は9月6日、1回戦を行い、伊達市のエフコム大泉球場（ほばら大泉球場）で只見町は大熊町と対戦しました。

2回に1点を先制されて迎えた3回、藤田暁嗣選手の適時打で同点に迫いつきます。先発した大竹力選手は安定した投球を見せましたが、6回に2点を取られます。その後、反撃するも及ばず、1－3で惜敗となりました。選手たちは最後まで諦めずに戦い抜きました。



▲力投する大竹力選手

▲適時打を放った藤田暁嗣選手

満百歳を祝う 梁取ムツ子さんに知事賀寿贈呈

梁取ムツ子さん（小林）への知事賀寿贈呈式が9月7日に只見ホームで行われました。

式では、知事賀寿状の伝達や、お祝い品の贈呈の他、ご家族から花束が贈られました。

梁取さんは「3度の食事をしっかり食べること。『生きてきた』ではなく『生かされてきた』という気持ちでいること」と長寿の秘訣を話しました。

これからも素敵な人生をお過ごしください。おめでとうございます。



▲梁取ムツ子さん(中央)とご家族の皆さん

総合的な探究の時間 第2回中間報告会

只見高校×食生活改善推進員「塩麴マトン」お披露目



▲「塩麴マトン」を考案した只見高校の生徒、食改推進員、黒澤料理長

只見高校の「総合的な探究の時間」第2回中間報告会が9月9日に只見公民館で行われました。2年生18人が7つの班に分かれ、夏休みに取り組んだ活動の成果を発表しました。その中で、昨年度、県南会津地方振興局の事業で只見高校の生徒と只見町食生活改善推進員が共同で考えた健康レシピ「塩麴マトン」の試食会が行われました。季の郷湯ら里でも9月1日からレストランで提供されており、黒澤俊光料理長も出席されました。

期成同盟会が企画

只見高生ら八十里越「橋銘板」揮ごう

国道289号八十里越の橋に、只見高校の生徒が揮ごうした橋銘板が設置されます。八十里越地点開発促進期成同盟会が、未来ある世代が揮ごうし、八十里越を後世へつないでいこうと企画しました。三条市の高校と只見高校の計6校の生徒が揮ごうし、只見高校は「木ノ根山橋」と「御前山橋」を担当しました。

9月10日、只見高校の総合文化部に所属する生徒6名が筆で橋の名前を書きました。齋藤全さん（3年）は「ずっと残るので緊張した。良い経験になった」と話しました。書かれた作品の中から、只見高校が実際に使う作品を選び、今年度中に橋銘板が橋に設置される予定です。



▲橋の名前を書いた(前列左から)山本朋佳さん(3年)、桃園華奈さん(1年)、伊藤芽衣さん(3年)、(後列左から)齋藤さん、梁取碧渡さん(3年)、愛澤颯太さん(2年)

伝統的な肥料作りを体験

「エコなコエニュー(肥ニュー)作り」開催

「エコなコエニュー(肥ニュー)作り」(只見町ブナセンター主催)が9月12日、ふるさと館田子倉の敷地内で開催されました。コエニューは只見の伝統的な緑肥です。刈り取った草を木枠の中に積み上げ、草が内部から発酵し、次第に緑肥へと変わっていきます。

今回は講師に五十嵐義博さん(只見)を招き、参加者は五十嵐さんに教わりながら木枠を組み立てました。その後、協力して刈り取った草を集めて木枠の中に運びました。できた緑肥は今後活用する予定です。



▲講師の五十嵐さん(左から4人目)と参加者の皆さん

人権の大切さを考える「人権教室」実施



▲自分だったら……と想像して、考えを書き出しました

9月14日、只見小学校3年生から6年生を対象に「人権教室」が行われました。只見町人権擁護委員の角田行雄さん、渡部早苗さん、渡部仁一さんが講師を務めました。

児童は、いじめを題材にしたアニメを見て、いじめをなくすにはどうしたらよいか、これから心がけることを考えました。児童からは「親や先生、友だちに相談する」「勇気を出して注意する」などの意見が出されました。講師らは「生きていく中で、今回の学びを思い出してほしい」と伝えました。

ブナセンター講座 中野陽介さんが退職記念講演

「ブナと生き、雪と暮らした只見」開催

「ブナと生き、雪と暮らした只見」(只見町ブナセンター主催)が9月19日に只見公民館で開催されました。同センター元主任指導員の中野陽介さんが講演し、只見ユネスコエコパークの登録や取り組んだ事業、只見での生活などを振り返りました。中野さんは「『自然首都・只見』ブランドをさらに発展させてほしい。立場は変わるが協力したい」と話しました。翌20日には、八十里越から入る木ノ根沢で自然観察会が開催されました。



▲講座では最後に中野さん(前列中央左)を囲んで記念撮影をしました
中野さん、14年と6か月ありがとうございました